

取扱説明書

デジタル プロセッシング ユニット
DEQ-1000A

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
販売店様へ
接続、取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。



■お客様登録のお願い
製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。登録は弊社ホームページにて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。
<https://car-users.pioneer.jp/>
なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。
弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。
必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

carrozzeria

安全上のご注意

(安全にお使いいただくために必ずお守りください)
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

- 警告** 「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
- 注意** 「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。**
- 注意(警告を含む)しなければならぬ内容です。
- 必ず行っていただく制限の内容です。
- 禁止(やめてはいけないこと)の内容です。

AU-001-002

接続・取り付け

警告

- 禁止** 本機は、DC12V(アース車専用)です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしてはいけません。
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。
前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない
交通事故やケガの原因となります。
電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。
取り付けには保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。
アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。
- 強制** 取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な故障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。
作業前にはバッテリーの端子を外す
①と②経路のショートにより、感電やケガの原因となります。
作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。
- 強制** 必ず付属の部品を使用し、確実に固定する
付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。
説明書に従って接続、取り付けする
説明書に従わずに接続、取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。
コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
コード類は運転操作の妨げにならないように固定する
ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。
取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。
ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

- 禁止** 直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けられない
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
アンテナやモニターを不安定なところに取り付けられない
落下などの原因となる場合があります。
通風口や放熱板をふさがない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となる場合があります。
コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となる場合があります。
コード類の配線は、車体の高温部に接触させない
火災や感電の原因となる場合があります。
製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない
火災や感電の原因となる場合があります。
電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。
分岐配線をしていない
ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となる場合があります。
雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない
発煙や発火、故障の原因となる場合があります。
コードが金属部に触れないように配線する
金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となる場合があります。
アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となる場合があります。
アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する
雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となる場合があります。

使用方法

警告

- 禁止** 運転者は走行中に操作をしない
前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。
メディア挿入口に手や指、異物を入れない
ケガや感電、火災や故障の原因となります。
液体で濡らさない
発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のご家庭ではご注意ください。
リモコンなどを放置しない
停車した時やカーブを曲がる時に、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。
画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない
思わぬ事故や火災、感電の原因となります。
雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の危険性があります。
- 接触禁止**
- 分解禁止**
- 強制** ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意

- 禁止** 本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。
アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。
音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する
ケガの原因となることがあります。
- 強制**
- 注意** 指のケガに注意

電池は正しく使う

警告

- 強制** 事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所保管する
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表示通りに入れる
電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなどにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。
電池の液漏れが発生した場合は
皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。

注意

- 禁止** 電池をショートさせたり、分解・加熱をしたり、火や水の中に入れてはいけません。
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
乾電池は充電しない
電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。
指定以外の電池の使用や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。
使いきった電池はすぐに交換する
液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。
リモコンは、直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する
ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告

- 強制** 万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店がサービス相談窓口にご相談ください。
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

安全のために

- ▲感電事故を防止するために**
 - 濡れた手で本機に触らないでください。感電するおそれがあります。また、本機が濡れているときも触らないでください。
 - 感電事故を防止するため、濡れやすい場所には本機を取り付けしないでください。
- ▲音量は控えめに**
 - 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ▲安全にご使用いただくために**
 - ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります(本体のヒューズは10Aです)。
- ▲接続・取り付けに関するご注意**
 - 接続/取り付けの作業前には、必ずバッテリーの端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。
 - 本機は必ず平らな場所に取り付けてください。平らでない場所や突起物の上には取り付けしないでください。故障の原因となります。
 - 本機を取り付ける際は、ネジなどの部品を挟み込まないように注意してください。故障の原因となります。
 - 車体に穴をあけて取り付けの場合は、パイプ類/タンク/電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。

＜各窓口へお問い合わせ時のご注意＞
「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご利用できません。
携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただきますので発信番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします			
操作についてお問い合わせいただく場合は、取扱説明書の「ポイントガイド」(「ア Pxx」を一度ご覧ください。) パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。 ●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について			
カスタマーサポートセンター			
受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)	■ファックス	0570-037-602(ナビダイヤル・有料)
■電話	【カーオーディオ/カーナビゲーション(商品)】 【固定電話から】 0120-944-111(無料) 【携帯電話・PHSから】 0570-037-600(ナビダイヤル・有料)	■インターネットホームページ	https://jp.pioneer/ja/support/ ※ 商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など
	上記の電話番号がご利用いただけいない場合		050-3820-7540(IP電話・有料)

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします
修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口			
受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)	■ファックス	0120-5-81029(無料)
■電話	【固定電話から】 0120-5-81028(無料) 【携帯電話・PHSから】 0570-037-610(ナビダイヤル・有料)	■インターネットホームページ	https://jp.pioneer/ja/support/purpose/repair/ ※ インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております
	上記の電話番号がご利用いただけいない場合		050-3820-7550(IP電話・有料)

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします			
●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について			
部品受注センター			
受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)	■ファックス	0120-5-81096(無料)
■電話	【固定電話から】 0120-5-81095(無料) 【携帯電話・PHSから】 0570-057-140(ナビダイヤル・有料)	■インターネットホームページ	https://jp.pioneer/ja/support/purpose/parts/flow/ ※ FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。
	上記の電話番号がご利用いただけいない場合		050-3820-7551(IP電話・有料)

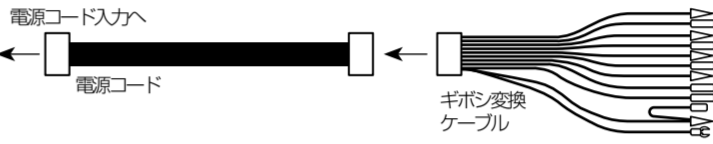
記載内容は、予告なく変更させていただきますことがありますのでご了承ください。 VOL.08

パイオニア株式会社
〒113-0021
東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコート

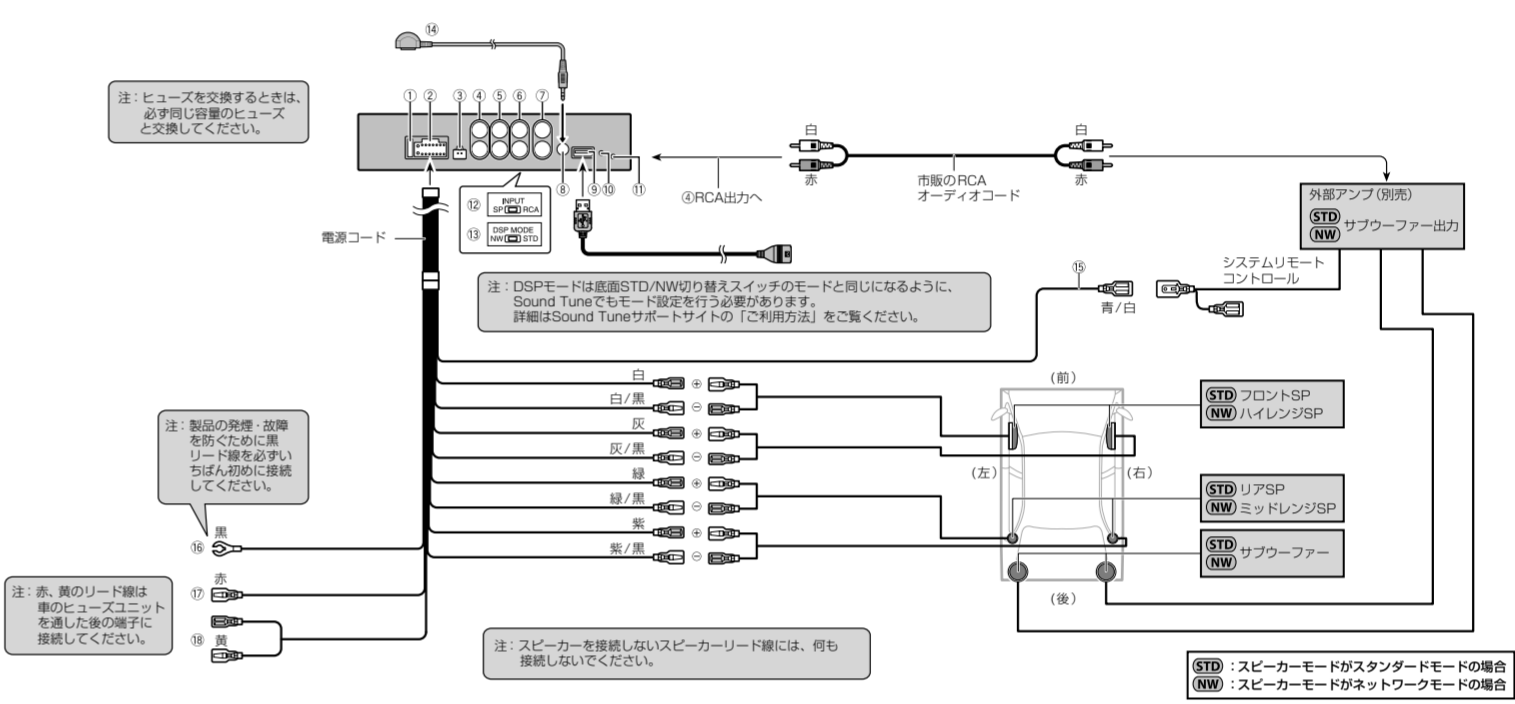
©パイオニア株式会社 2018
<5707000012552V-A>

電源コードとスピーカーの接続

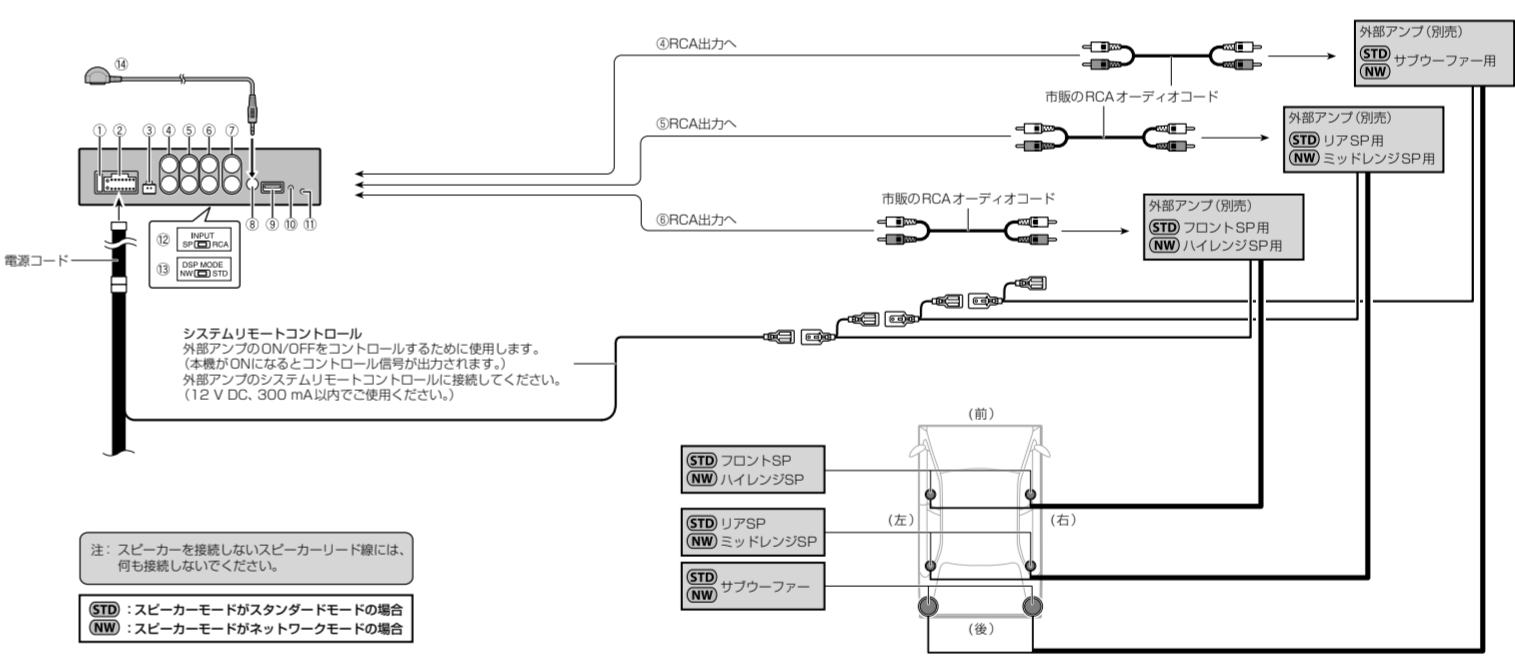
車両に接続するときに、付属の電源コードとギボシ変換ケーブルを接続してお使いください。



本機のスピーカーリード線にスピーカーを接続する場合

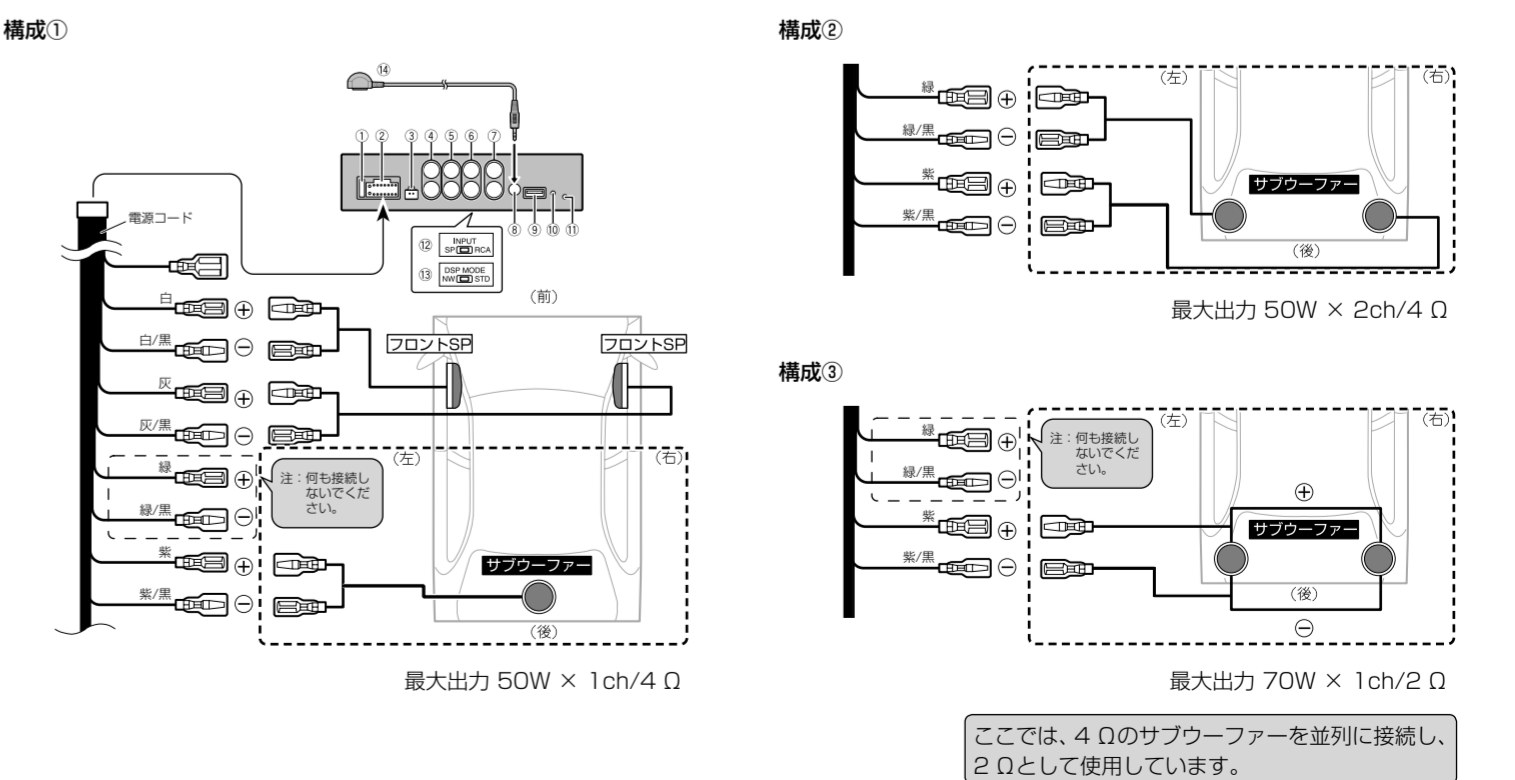


本機の RCA 出力に外部アンプを接続する場合



- ① ヒューズ (10 A)
- ② 電源コード入力
- ③ パーキングブレーキコード
- ④ サブウーファー出力
- ⑤ リア出力 / ミドルレンジ出力
- ⑥ フロント出力 / ハイレンジ出力
- ⑦ RCA 入力
- ⑧ リモコンセンサー入力
- ⑨ USB ポート
- ⑩ リセットボタン
- ⑪ パワーインジケータ
- ⑫ スピーカー入力 / RCA 入力切り替えスイッチ
- ⑬ ネットワークモード / スタンダードモード切り替えスイッチ
- ⑭ リモコンセンサー
- ⑮ システムリモートコントロール
外部アンプの ON/OFF をコントロールするために使用します。(本機が ON になるとコントロール信号が出力されます。)
- ⑯ + バッテリー電源
車のエンジンスイッチの ON/OFF に関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。
- ⑰ アース
車のボディの金属部に確実に接続してください。
- ⑱ アクセサリー電源
車のエンジンスイッチを ACC の位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。
- ⑳ - バッテリー電源
車のエンジンスイッチの ON/OFF に関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合



※構成①②③に対する Soundtune の設定については、Sound Tune サポートサイトの「ご利用方法」をご覧ください。
※リア出力はサブウーファーの設定値となります。

RCA入力／スピーカー入力での接続

- RCA入力で接続する場合は、カーステレオのRCA出力と本機のRCA入力を接続してください。スピーカー入力/RCA入力切り替えスイッチを[RCA]にしてください。
- スピーカー入力で接続する場合は、電源コードを使ってカーステレオのスピーカー出力を本機へ接続してください。スピーカー入力/RCA入力切り替えスイッチを[S/P]にしてください。

RCA入力での接続	スピーカー入力での接続
	
<div>① RCA 入力へ</div> <div>② RCA ケーブル（別売）</div> <div>③ RCA 出力へ</div> <div>④ カーステレオまたはナビゲーションシステム</div>	<div>⑤ 電源コード入力へ</div> <div>⑥ 電源コード</div>

RCA入力あるいはスピーカー入力での接続に関するご注意

- カーステレオまたはナビゲーションシステムからの入力信号は、2チャンネルです。
- カーステレオまたはナビゲーションシステムで該当チャンネル以外の設定を変更しても、本機の出力信号へは反映されません。
- ACC ポジションが無い車両の場合は、必ずスピーカー入力で接続してください。カーステレオまたはナビゲーションシステムの電源に連動して本機が起動します。カーステレオまたはナビゲーションシステムの種類によっては、本機が起動しない場合があります。

パーキングブレーキケーブルの接続

パーキングブレーキコードを使って、パーキングブレーキスイッチに接続します。

	<div>①パーキングブレーキコード入力へ</div> <div>②パーキングブレーキコード</div> <div>パーキングブレーキのON/OFF状態の検出に使います。このリード線は、パーキングブレーキスイッチの電源側に接続します。</div> <div>③電源側</div> <div>④パーキングブレーキスイッチ</div> <div>⑤アース側</div>
	

パーキングブレーキケーブルを接続しない場合、Sound Tuneの一部の機能がご利用いただけません。

リモコンの各部の名称

	<div>①ボリューム ダウンボタン</div> <div>②ボリューム アップボタン</div> <div>③MUTE ボタン</div> <div>④SRC ボタン</div> <div>⑤◀ ボタン</div> <div>1つ前のトラック / 曲を選択します</div> <div>⑥▶ ボタン</div> <div>次のトラック / 曲を選択します</div> <div>⑦再生 / 一時停止ボタン</div> <div>⑧A ボタン</div> <div>長く押すと接続モードが iPhone および AOA 接続に切り換わります (iPhone および AOA 接続しているスマートフォン (Android) の場合)。</div> <div>⑨B ボタン</div> <div>長く押すと接続モードが OTG 接続に切り換わります (OTG 接続しているスマートフォン (Android) の場合)。</div>
	

取り付け

本機

❗ 重要

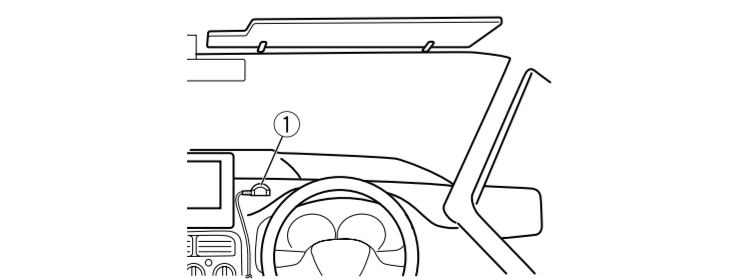
- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。
- 付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できず外れたりして危険です。
- 車両に穴をあける場合は、販売店にご相談ください。
- 以下のような場所には取り付けしないでください。
 - 運転の妨げになる場所
 - 急停車したときに、負傷する可能性がある場所
 - ヒーターの近くなどには取り付けをしないでください。
- スピーカー入力/RCA入力切り替えスイッチまたはネットワークモード / スタンダードモード切り替えスイッチを変更した場合は、ACCスイッチをOFF/ON することで設定した値が有効になります。

- ネットワークモード / スタンダードモード切り替えスイッチを切り換える
- スピーカー入力/RCA入力切り替えスイッチを切り換える
- ネジを締め、本機を固定する

	<div>①ブラケット</div> <div>②ネジ (4 mm × 8 mm)</div> <div>③タッピングネジ (4 mm × 12mm)</div> <div>④ネジ穴 (2 mm ~ 2.5mm)</div> <div>⑤カーマットなど (イラストは一例です)</div>
	

リモコン受光部

- リモコン受光部をリモコンセンサー入力へ接続する
リモコンの信号を受信できる場所へ取り付けます。



①リモコン受光部

リモコン受光部のケーブルは、運転操作の妨げにならないように市販のクランプなどで固定してください。

Sound Tune のダウンロード

本機を使うためには、Sound Tune を iPhone またはスマートフォン (Android) へダウンロードしてください。Sound Tune は、Google Play™ (Google Play ストア) または App Store からダウンロードしてください。検索キーワードを入力する場合は、「Pioneer Sound Tune」と入力することをお勧めします。

⚠️ 携帯端末で操作するときのご注意

運転者は走行中に携帯端末を操作しないでください。運転中に携帯端末を手で保持して操作すると罰則の対象となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

Sound Tune では以下のことができます。

iPhone またはスマートフォン (Android) に保存されている曲の再生
再生可能な曲の形式は、お使いのデバイスによって異なります。詳しくは各機器の取扱説明書をお読みください。

iPhone またはスマートフォン (Android) に保存されている曲および車載器の曲の演出

- Super “Todoroki” Sound
- Live Simulation

以下のような設定

- スタンダードモード (フロント / リア / サブウーファー)
 - ネットワークモード (3 Way ネットワーク)
 - スピーカーセッティング
 - グラフィックイコライザー
 - タイムアライメント
 - ネットワークフィルター
 - スピーカーレベル
 - フェーダー / バランス
 - ソースキャリブレーション
- 機能の詳細は、Sound Tune サポートサイトの「ご利用方法」をご覧ください。

本機の使いかた

iPhone またはスマートフォン (Android) の接続方法によって、以下の機能をご利用いただけます。

本機のみで使う (iPhone またはスマートフォン (Android) を接続しない場合)

カーステレオまたはナビゲーションシステムのサウンドを出力することができます。付属のリモコンで、ボリューム、ミュート機能のみ操作できます。その他の調整は、iPhone またはスマートフォン (Android) を接続して Sound Tune からおこなってください。

iPhone またはスマートフォン (Android) を本機に接続して使う

iPhone またはスマートフォン (Android) の接続方法は、以下の4種類があります。リモコンの場合は、SRC ボタンを押して接続モードに切り換えます。接続モードは、カーステレオモード、スマートフォンモード、スルーモード (AOA)、ミックスモードの順に切り換わります。

カーステレオモード
カーステレオまたはナビゲーションシステムのサウンドを、iPhone またはスマートフォン (Android) を経由して出力します。

スマートフォンモード
iPhone またはスマートフォン (Android) のサウンドを出力します。

スルーモード
カーステレオまたはナビゲーションシステムのサウンドを、iPhone またはスマートフォン (Android) を経由せずに出力します。本機のみで使う場合と同じ出力です。カーステレオモードで動画などを再生しているときに、映像と音声がずれていような場合に選択してください。

ミックスモード
カーステレオまたはナビゲーションシステムのサウンドを、iPhone またはスマートフォン (Android) をミキシングして出力します。iPhone またはスマートフォン (Android) のサウンドを再生しながら、カーステレオまたはナビゲーションシステムの音声ガイダンスを利用する場合に選択してください。カーステレオまたはナビゲーションシステムの設定を、ガイダンス音声のみを出力するように設定してください。カーステレオまたはナビゲーションシステムによっては、ご利用いただけない場合があります。

iPhone またはスマートフォン (Android) の接続方法と利用できるモードは以下のとおりです。

機器	iPhone	スマートフォン (Android)	
接続方式	–	AOA*1	OTG*2
カーステレオモード	○	–*3	○
スマートフォンモード	○	○	△*4
スルーモード	○	○	○
ミックスモード	○	○	△*4

*1 AOA (Android Open Accessory) とは、Android 機器から USB 搭載製品をアクセサリとして利用するためのインターフェイス規格です。
*2 OTG (On-The-Go) とは、USB 機器どうしを直接接続するインターフェイスの規格です。OTG 接続した場合は、スマートフォン (Android) に充電することはできません。スマートフォン (Android) のバッテリー残量にご注意ください。
*3 AOA 接続では、カーステレオモードはご利用できません。スルーモードと同じ動作をします。
*4 OTG 接続では、Sound Tune 以外のアプリケーションによるサウンドを本機から出力することができません。

- スマートフォン (Android) の接続には USB のハイスピードケーブルの使用を推奨します。
- iPhone またはスマートフォン (Android) を接続していない場合、Super “Todoroki” Sound や Live Simulation など一部の機能が利用できません。また、iPhone またはスマートフォン (Android) を接続時でも、以下の条件では上記機能が利用できません。
 - スルーモード選択時
 - Sound Tune 以外のアプリケーションによるメディア再生時
- 本機は、スマートフォン (Android) への接続が可能ですが、すべての端末を保証するものではありません。スマートフォン (Android) によっては、AOA 接続で動作しない場合があります。その場合は OTG 接続でお使いください。それでも動作しない場合は、接続できない端末か、本機の故障が考えられます。サービス相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

iPhone/ スマートフォン (Android) の接続

iPhoneの接続	
	
<div>①USB ポート</div> <div>②USB ケーブル (Type A)</div> <div>③Lightning ケーブル (純正または別売)</div> <div>④iPhone</div>	

スマートフォン (Android) の接続 (AOA 接続)	
	
<div>①USB ポート</div> <div>②USB ケーブル (Type A)</div> <div>③USB – micro USB ケーブル (別売)</div> <div>④スマートフォン (Android)</div>	

スマートフォン (Android) の接続 (OTG 接続)	
	
<div>①USB ポート</div> <div>②USB ケーブル (Type A)</div> <div>③USB A - A ケーブル (別売)</div> <div>④USB OTG ケーブル (別売)</div> <div>⑤スマートフォン (Android)</div>	

スマートフォン (Android) の接続 (AOA 接続)	
	
<div>①USB ポート</div> <div>②USB ケーブル (Type A)</div> <div>③USB A - A ケーブル (別売)</div> <div>④USB OTG ケーブル (別売)</div> <div>⑤スマートフォン (Android)</div>	

- OTG 接続時は、スマートフォン (Android) に充電はできません。
- OTG 接続をした場合、リモコンのBボタンを長押しして、OTG 接続モードに切り換えてください。
- スマートフォン (Android) によっては一部の機能が使用できない場合があります。

USB 機器について

- iPhone またはスマートフォン (Android) および USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に iPhone またはスマートフォン (Android) などのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPhone またはスマートフォン (Android) は必ず固定してください。iPhone またはスマートフォン (Android) が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

本機との接続について

- iPhone またはスマートフォン (Android) 以外 (USB 扇風機など) は接続しないでください。
- USB ハブを使用した接続には対応していません。

Sound Tune の使いかた

iPhone またはスマートフォン (Android) を本機に接続すると、iPhone またはスマートフォン (Android) の画面にメッセージが表示されます。接続を許可すると、Sound Tune が起動します。

Library	100%
 Username	
<div>Songs</div> <div>Artists</div> <div>Albums</div> <div>Playlists</div>	<div>▶</div> <div>▶</div> <div>▶</div> <div>▶</div>
 Library	▶
 Queue	▶
 Mixup	▶
 Effect	▶
 Preset	▶

Sound Tune の画面下部のアイコンをタップして、操作を開始してください。

リセット方法

正しく動作しない、または設定値を工場出荷時に戻したい場合は、本機をリセットします。

- 本機が動作中にリセットボタンを押す。
- エンジンを切る。エンジンを切った時点で設定内容が初期化されます。次回起動時に工場出荷時の状態で動作します。

音が出ないときは

- 取り付け後、音が出ないときは以下を確認してください。
- iPhone またはスマートフォン (Android) と本機が、USB ケーブルで正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。
- AOA または OTG、それぞれの接続方式や接続モード切り換えが正しいか、もう一度確認してください。
- ACC を OFF/ON してください。それでも直らないときは「保証書とアフターサービス」をお読みになり、修理を依頼してください。

サポートサイトについて

SoundTune に関するご不明な点がありましたら下記サポートサイトをご確認ください。

iOS	Android
	
	

保護機能について

- 本機には保護機能があります。本機が異常を検出すると、パワーインジケータが赤く点灯して電源が切れます。
 - 以下を確認してください。
 - スピーカー出力がショートした
 - アンプ部が異常を検出した
 - また、以下の異常の場合、パワーインジケータが赤く点滅します。
 - USB 電源が異常を検知した
 - USB 接続がエラーした
- 上記症状の場合、ACC を OFF / ON および USB 抜き差しして改善しない場合は、「保証書とアフターサービス」をお読みになり、修理を依頼してください。

仕様	
共通部	
使用電源	14.4V DC (10.8-15.1V 使用可能)
アース方式	マイナスアース方式
最大消費電流	9.2A
寸法	170 (W) × 40 (H) × 95 (D) mm
ヒューズ	10A
質量	0.59kg (コードユニット含まず)

オーディオ部	
パワーアンプ	
最大出力	50W × 4
	50W × 2ch/4 Ω + 70W × 1ch/2 Ω (for SUB-WOOFER)
定格出力	22W × 4
	(50 ~ 15kHz, 5%THD, 4 Ω LOAD, Both Channels Driven)
負荷インピーダンス	4 Ω
	(4 ~ 8 Ω (2 Ω for 1ch) allowable)

プリアウト	
出力レベル (MAX)	4.0V
インピーダンス	250 Ω
周波数特性	10Hz ~ 20kHz (+0dB, -1dB)
S/N 比	105dB
高調波歪率	0.01%

イコライザー (13BAND GRAPHIC EQUALIZER)	
周波数	50Hz, 80Hz, 125Hz, 200Hz, 315Hz, 500Hz, 800Hz, 1.25kHz, 2kHz, 3.15kHz, 5kHz, 8kHz, 12.5kHz ± 12dB (0.1dB step)
調整幅	
スピーカーセッティング	
<STANDARD MODE>	
FRONT/REAR (HPF)	
スローブ	周波数 50Hz, 63Hz, 80Hz, 100Hz, 125Hz, 160Hz, 200Hz
レベル	0dB (Pass), -6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct
SUB WOOFER (LPF)	
スローブ	周波数 50Hz, 63Hz, 80Hz, 100Hz, 125Hz, 160Hz, 200Hz
レベル	0dB (Pass), -6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct
位相	NORMAL/REVERSE
SPEAKER LEVEL	
レベル	-24dB ~ +10dB (1dB/Step)
TIME ALIGNMENT	
タイムアライメント	0cm ~ 350cm (2.5cm/step)
<NETWORK MODE>	
HIGH (HPF)	
スローブ	周波数 1.25kHz, 1.6kHz, 2kHz, 2.5kHz, 3.15kHz, 4kHz, 5kHz, 6.3kHz, 8kHz, 10kHz, 12.5kHz
レベル	-6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct
MID (LPF)	
スローブ	周波数 1.25kHz, 1.6kHz, 2kHz, 2.5kHz, 3.15kHz, 4kHz, 5kHz, 6.3kHz, 8kHz, 10kHz, 12.5kHz
レベル	0dB (Pass), -6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct
MID (HPF)	
スローブ	周波数 25Hz, 31.5Hz, 40Hz, 50Hz, 63Hz, 80Hz, 100Hz, 125Hz, 160Hz, 200Hz, 250Hz
レベル	0dB (Pass), -6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct
SUB WOOFER (LPF)	
スローブ	周波数 25Hz, 31.5Hz, 40Hz, 50Hz, 63Hz, 80Hz, 100Hz, 125Hz, 160Hz, 200Hz, 250Hz
レベル	0dB (Pass), -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct, -30dB/oct, -36dB/oct
位相	-24dB ~ +10dB (1dB/Step)
SPEAKER LEVEL	
レベル	-24dB ~ +10dB (1dB/Step)
TIME ALIGNMENT	
タイムアライメント	0cm ~ 350cm (2.5cm/step)

USB 規格	
最大供給電流	USB2.0 High Speed 1.5A

付属品	
コードユニット (電源ケーブル、ギボシ変換ケーブル、パーキングブレーキ)	1 式
取り付けキット	1 式
USB ケーブル (Type A)	1
リモコンユニット (本体、リモコンセンサー)	1 式
取扱説明書	1
保証書	1

商標

USB	
USB 規格	USB2.0 High Speed
最大供給電流	1.5A
付属品	
コードユニット (電源ケーブル、ギボシ変換ケーブル、パーキングブレーキ)	1 式
取り付けキット	1 式
USB ケーブル (Type A)	1
リモコンユニット (本体、リモコンセンサー)	1 式
取扱説明書	1
保証書	1

商標	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	

iPhone、iPod は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。日本における iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
Made for Apple マークの使用に関して、パッケージに記してあるアップル製品に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリーをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書	
保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。	
保証期間	
この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。	
修理について	
本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外しいただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)	

■保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、弊社ホームページをご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません (保証期間内含む)。販売店、または取付店にご相談ください。お車からの脱着費用につきましてはお客様のご負担となります。

■補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。